

Title: 萌の苗舎



長山 茗  
夢はでっかく。心も  
でっかく。でも歩幅  
は小さく。

山岳地帯や国境付近  
をまわります。移動  
が大変...トホホ

## ● 最近のエントリー

- ハートの音とキスの温度  
(2012.06.30)
- 離空の街！ではなかった  
(2012.06.22)
- マイマイマイマーク  
(2012.06.20)
- シンガポールとPPW  
(2012.06.11)

## ● アーカイブ

- 2012年08月
- 2012年07月
- 2012年06月
- 2012年05月
- 2012年04月
- 2012年03月

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**

Your Vision, Our Future

OLYMPUS SH-21



RSS 2.0

12.06.30

hardtの音とキスの温度

[Tweet](#)

[Check](#)

井関、谷瀬とともに社会貢献を行いました。

今回の活動内容は

井関の取材先である

インド・トュニの義理施設「ASHIRVAD CHILDREN HOME」にて  
子ども達の写真撮影を行い

その写真を彼らにプレゼントすると言うものです。

施設訪問時は

子ども達を撮影して

子ども達と遊んで

子ども達にカメラの使い方を教えて

子ども達に折り紙を教えて

子ども達とご飯を食べて

皆で大はしゃぎ。



プレゼントする写真は  
ホテルの自室でプリントし  
コルクボードに貼り付けて  
トュニを発つ日の朝に施設の責任者であるラジャさんへ渡しました。



正直、今回の企画が「社会貢献」  
という名のもとで成り立つものになっているのかよくわからないです。

彼らの生活の秩序を乱すつもりはなかったけれど  
結果、そうなってしまったのではかと考えてしまう…。

私たちの旅はまだまだ続いている

これから先

まだまだ沢山の場所へ行って

沢山の出会いがあるだろうよ

でも

彼らはずっとそこにはいるんです。

ま~一生とはいわないけど  
時間が経てば  
街の人も  
施設の子ども達も  
日本人が来たこと  
私がここへ来たこと  
きっと忘れていいてしまうと思います。  
私自身もだんだんと  
記憶が明確でなくなつて  
ここで思い出や感じたことが  
私の頭の中では薄くなつてしまつてもしかねない  
だから  
一週間後  
一ヶ月後  
一年後  
これから先の私の為に  
以下の文章をここに  
残しておきます。  
(ちゃんと後で読み返せよ。私)

子ども達が私のカメラに入っている写真をみて  
「これは日本なの？」と尋ねてきた  
でも、それはインドに入ってから撮影したもので、インド人の姿も沢山映っていました  
きっと彼らは  
遠く離れた日本はもちろん  
施設の外のインド  
トュニの外のインド  
故郷の外のインド  
彼ら自身が住んでいた「インド」でさえ  
見たこともなければ、知らないんだな～  
と、そんなことを考えながら

頃～写真でできること山ほどあるぞ～

と叫んでみたりして…

出会って、一度関わって  
さようなら…  
トュニに来て  
子ども達と触れ合って  
これで終わりってとってもとっても寂しいぞ  
と、この旅が始まってから  
初めて本気でそうなふうに感じたのではないか  
と思います。

見たいものがある  
知りたいことがある  
会いたい人がいる  
見せたいものがある  
伝えたいことがある

日本で行動計画を作っている隣は  
「トュニ？どこだよ～」  
「本当にあんのか～」とブツブツ文句タラタラ…  
(井関ごめんよ)  
でも  
日本を出て約三ヶ月半の中で  
トュニに来たことによって  
初めて  
私の胸の中で起きている  
トキメキとか  
キラメキとか  
ドキドキとか  
ワクワクとかっていう気持ちを  
感じてしまって  
なんじゃこりゃ～!!!!!!?!!?  
となってしまいました。  
神秘的過ぎて  
誰か過ぎて  
この気持ちを何にぶつけたら良いんだが  
どう形に変えたらいいんだが…

うん。写真ですね



カテゴリ:

post by 長山 茜 | 日時: 2012.06.30 | パーマリンク | コメント(0) | トラックバック(0)

薺の苗詰 > 2012年06月 アーカイブ

12.06.22

架空の街！ではなかった

[Tweet](#)

[Check](#)

マイソールでの最後の夜は  
メヘドリアカの屋台街~~~~

なんだが、なんだか、なんだか...  
全然カレーじゃないですよ～!!  
インドに入国してから、意外とカレー以外のものを口にしております。はい



マイソールにさよならして  
次なる目的地はトュニ。  
マイソールからShatabdiExp.でチエンナイへ戻り  
チエンナイから空路でビジャカバトナムへ  
そこから更に電車で約1時間かけてトュニに到着です。  
ビジャカバトナムからトュニへ向かう電車で  
私たち二人は思わず車両に乗りてしまいました...  
チエンナイ～マイソール間のShatabdiExp.とは一軒して  
プラットフォームもマイチ分からぬ...  
人に尋ねて、こちらが「トュニ」と言つても  
相手から返ってくる言葉は「チエンナイ」  
乗れと言われた車両内は、人、人、人、人でごった返していて  
もちろんクーラーはないし  
乗客の熱い視線は痛い...  
座る席さえない...  
仕方なくバックパックを椅子代わりに使い  
谷キヨンとは背中合わせに座って...  
「私たちここのままでトュニに行けるのかな...」  
「皆こっちみてろわ」  
「インド人ばかりだれ」  
なんて会話をほとんどの顔を合わせずにしていました。  
しかしながら  
だんだんと皆さん  
私たちが居ることに慣れてきたのか  
なんだか、和氣あいあいな雰囲気にな...



皆さん、一勢に喋りだす~~~~~  
何言ってるかほとんど理解できませんでしたけどね...  
でも、皆さんのおかげで私たち2人は無事にトュニに到着することができましたよ。  
ありがとうございます。皆の事は一生忘れないよ。うんうん  
私は、達成感で胸がいっぱいいっぱいですわ。  
トュニ。  
トュニ。  
トュニ。  
本当に存在してたんだね。うんうん。





ま～畠田さんと井間がすでに滞在しているから  
当たり前なんですけどねっ…

本日、トヨニ初日ですが  
すでにドキドキとワクワクが止まらずに  
胸が高鳴っております。

カテゴリ：

post by 長山 茜 | 日時: 2012.06.22 | [パーマリンク](#) | [コメント\(3\)](#) |  [トラックバック\(0\)](#)

[歳の年記](#) > 2012年06月 アーカイフ

12.06.20

## マイマイマイマ～♪

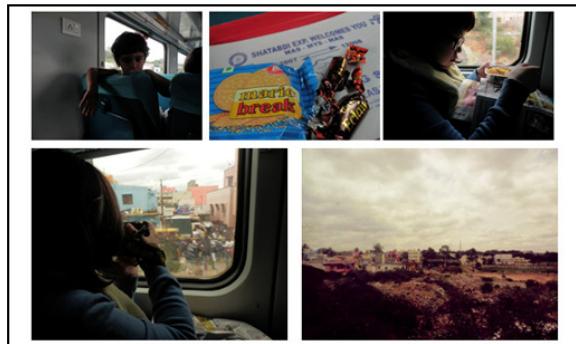
[Tweet](#)

[Check](#)

お世話になったスクーリング施設を出て  
先日、インドに到着いたしました。

指定泊のチェンナイを経て、只今は谷瀬と共に  
デカン高原最南端の街「マイソール」に滞在中でございます。  
マイソールまでのチケットはチェンナイセントラル駅の外国人専用カウンターにて購入。  
(ついでに帰りにチケットも。)  
ここでビックリ。スタッフのお姉さんがゴキブリにあたふた。  
私の方が大分、冷静でしたよ。  
ん～ボイ捨てやめようよ…。

話を戻して  
チエンナイ-マイソール間の電車はShatabdiExp.  
行動計画を作る際にIndiaRailwayInfoで調べて  
事前に決めていた電車でした。  
寒すぎるくらいにお湯子とコーヒー、その後に朝ごはん。  
発車後はすぐにお菓子とコーヒー、その後に朝ごはん。  
パンガロールを過ぎるとお昼ご飯も。  
新聞まで配られて差しり尽くせりなサービス☆  
おトイレも綺麗☆(ティッシュないけど。)



マイソール駅に到着後はフリーで営業しているリクシャーのお兄さん達が五月帰がったけど  
プリベードリクシャー(?)のカウンターを見つけてホテルへゴー。

マイソールはインドの遺跡地として有名らしく朝・昼・晩と一日中過ごししいです。  
私たちのような外国人観光客はほとんど見かけませんが  
インド国内からの観光客は沢山いましたよ。



カテゴリ：

post by 長山 茜 | 日時: 2012.06.20 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) |  [トラックバック\(0\)](#)

[歳の年記](#) > 2012年06月 アーカイフ

12.06.11

## シンガポールとFW

[Tweet](#)

[Check](#)

先日、シンガポールでの写真展が終了いたしました。

FW7期の皆での展示ではありましたが  
私にとって、公の場で写真を展示することが高校生以来で、更には海外での展示といふこと  
もあって  
ちゃんとお客様さんに写真の内容と自分が何を撮ってきたかを説明できるよう  
気合を入れて、事前に英語での説明を準備しておいたのですが  
お客様からは、想定外の質問が…  
正直、英語で説明でききれない質問ではなく  
完全に私の技術不足を突かれた質問でした。  
あたふたして、出でた言葉は「s o r r y」  
レンズがモニヨモニヨ…天気がモニヨモニヨ…光がモニヨモニヨ…被写体がモニヨモニヨ…  
なんていう言い訳は(当たり前だけど)出来ません。  
全部全部、選択したのは私なので。

でも、このタイミングで、この場所で、写真展が出来ることには大きな意味があるのだと  
思います。  
マハーリム・メルセー

ハメ ソノメ 1814  
全く知らない人達から受ける、写真への評価。  
プラスな評価も、マイナスな評価も、  
見た人は必ずアクションをくれる。  
また、先進国とは捉えられないアジアの国や地域に長い期間、滞在し  
ハイテクな機材で撮影し  
その場で現地の人見れば  
悪い気はしない反応が返ってくる。  
しかし、私達が写真展を行なったシンガポールは  
出発前の私の日常と変わらないくらいにモノで溢れている。  
自分が望めば、モノも情緒も手に入るし、  
ある程度の欲も簡単に満たせる。  
だから（と、単純に決め付けることは出来ないけど…）  
見る人達のリアクションに冷や冷やする。  
「素敵ね」→「ありがとう」  
見てくれる人と私たちとのやり取りはコレだけじゃないから。  
なんだか、やっと現実に引き戻された気がしました。



展示に関しては、今になつて  
レイアウトや設営の段階でもっともっと工夫出来ることがあったんじゃないかな  
と反省する点があります  
これは、写真展を開催したことによって芽生えた気持ちなので  
今回のような機会がなければ学べなかつたことです。

写真展の機会を設けてくださったOLYMPUS株式会社様  
写真用紙を提供してくださいました株式会社ピクトリコ様  
本当にありがとうございます。

そして、日本からサポートしてくれていた  
五十嵐先生、教務課スタッフの皆様

ありがとうございました。

カテゴリ:  
post by 長山 誠 | 日時: 2012.06.11 | [パークリング](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[藤の苗話 > 2012年06月 アーカイブ](#)

12.06.05

## 気合と根性とその後

[Tweet](#)

[Check](#)

先日、マレーシアでのFW前期スクーリングが終了しました。

正直  
入学してからの2年間  
自分は何をやってきたのだろう…と絆けなさでいっぱいになりました。  
出発前の面談や授業で先生たちと約束したことをこの2ヶ月半で、私は果たせていたんだ  
ろうか  
と自分に問いかければ、答えは決まっている…。  
努力してるので、とても言えない。  
「なんでもあります。」  
「ちゃんとやります。」  
実際「なんでも」の意味なんんで理解していなかったし  
自分がどうしたいのかも分かっていなかった。

分かってもらえない  
理解してもらえない  
でも自分が一番分かっていない…。  
人と話すこと  
他者と気持ちを共有することも  
今まで皆無に近いくらいにしてできませんでした。  
感じないように、見ないように、気がつかないように…。  
感じじゅったら  
見ちゃったら  
気づいたら  
辛いこととか、痛いこととかが有りすぎて  
涙流しちゃったり…  
熱くなっちゃったり…  
そんなん全然スマートじゃないし  
格好悪いし…。

小学生の時に給食当番でご飯を上手に均等に配れなくてあたふたしている子がいて  
その隣で私は「さっさと済ませろ」と思いながら冷凍みかんを配っていた。  
要するに

私は楽な道を、何も考えずに、誰とも話をせずに、  
ただただ空からしながら進んできたんだなど、この2ヶ月半で気づきました。  
いや、気づいてはいたんだと思う。  
認めることができなかつたんです。  
でもそんなんじゃ、前も待られないし  
何も学べないんだよねっ。  
第一、目の前の現実とか現状とか出来事とか…  
「世界」を受け止めて、感じて考えていいかないと  
表現なんてできない！と思います…

理解力・行動力・表現力を身につけること  
の前に私には課題が沢山あります。  
兎に角



それにしても  
最終日の最後の飯塙先生が一番迫力がありました...  
足がすくんでしまった

カテゴリ:

post by 長山 藤 | 日時: 2012.06.05 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) |  [トラックバック\(0\)](#)